

**1**  
Rd.  
APR 2012

# RACING PRESS

*apan*

**2012 SUPER GT ROUND 1  
OKAYAMA**



# SUPER GT

2012 Round 1  
OKAYAMA

**OKAYAMA GT 300Km RACE**  
**3/31-4/1**

Text Editor

吉川 嗣恵

Special Text

島村 元子

Photo

鉄谷 康博

加藤 智充

中村 佳史

近江 勲

小澤 克仁

# 立川祐路と山本尚貴が最終ラップまで ギリギリのバトル! 軍配はSCに輝く。



2nd



3rd

## GT500 WINNER

### GT500 決勝結果

優勝	38	ZENT CERUMO SC430	立川祐路	平手晃平
2位	100	RAYBRIG HSV-010	伊沢拓也	山本尚貴
3位	17	KEIHIN HSV-010	金石年弘	塚越広大

# GT500

 **AUTOBACS**

 **AUTOBACS**

 **AUTOBA**



ニッポンを元気に!

# Audi R8 逆転で初優勝!

## GT300 決勝結果

優勝	11	GAINER DIXCEL R8 LMS	田中哲也	平中克幸
2位	911	エンドレスTAISAN 911	峰尾恭輔	横溝直輝
3位	0	GSR初音ミク BMW	谷口信輝	片岡龍也



# GT300

AUTOBACS

AUTOBACS

AUTOBACS



ニッポンを元気に!

TOPICS

# GT300が熱い! New Machineが続々投入・激戦!



Mercedes-Benz SLS



SUBARU BRZ



TOYOTA PRIUS



Audi R8-LMS



NISSAN GT-R



BMW Z4



# THE TEAM

## CLOSE-UP

### Team

## NAKAJIMA RACING

Text by M. Shimamura

Photo: Y. Tetsutani / T. Kato

### ホンダ勢唯一のDLタイヤで奮闘、狙うは表彰台の真ん中!

白とブルーのEPSONカラーに身を包んだホンダHSV-010。このクルマを走らせるのは、NAKAJIMA RACING。日本人ドライバーとして、初めてフォーミュラレースの最高峰であるF1にフル参戦を果たした人物、中嶋悟氏が代表のチームであり、自身は総監督としてSUPER GTで采配を揮っている。かつてこのチームでは、フォーミュラ・ニッポンとSUPER GTの両カテゴリーに参戦するドライバーが同じチームから出走していたが、最近ではもっぱら“分別化”が進み、GTとフォーミュラではそれぞれ別のドライバーが所属している。また、かつては白と黒のシンプルなPIAAのカラーリングが一世を風靡したことも有名だ。

このゼッケン32番のHSV-010が装着するタイヤは、ダンロップ。5台のホンダ勢のうち、4台はブリヂストンであるため、唯一の存在となる。データ共有ができないという厳しさもあるが、チームは2005年からタイヤ開発を担当、微妙なコンディション、特に不安定な雨量の中ではピカイチの走りを披露するポテンシャルを持つ。それだけに、ビタリとハマれば圧倒的な強さへとつながり、ライバルを出し抜いて好成績へとつなげることが可能だ。

チームドライバーは、童夢で長らくホンダ車の開発に携わってきたベテランの道上 龍と、若手の中山友貴のふたりが務める。中でも道上は、開発におけるノウハウを豊富に持っているだけに、クルマのセットアップはモチロンのこと、タイヤのポテンシャルアップにおいても、チームにとっては欠かせない“ご意見番”として目置かれている。童夢からNAKAJIMA RACINGへの移籍もオドロキのニュースではあったが、このチームでの参戦も早いもので3年目に突入。中山とは初年度から息の合ったところを見せており、お兄さん的な存在として、中山はもとより、チームの実働部隊をも引っ張り、チーム一丸で優勝を目指している。



道上 龍 Ryo Michigami

中山友貴 Yuhki Nakayama